



Profile

なかがわ野菊の里 代表 新居義治さん・希予さん(奥様)

代々継承された徳島伝統の黒米を夫婦で栽培する12代目農家。農薬と化学肥料を使わない有機農業で栽培し、安心安全な米を作り続けている。12haと広大な農地で多彩な品種のお米の栽培を行う。ネットで8種類の米や加工品・阿波晩茶の販売を行っている。



伝統の味を再興し 食の安全と思い出の味を 守り続けて

1300年の歴史ある『伝統黒米 弥生紫』を栽培する農家に生まれ、大学卒業後に家業を継いだ新居さん。作業のほとんどを手作業で行うことから、戦後の農業機械導入と大量生産大量消費の時代の波に押され、幻となった徳島の伝統的な白米の品種『徳ぼん』を、地道な努力によって復活。テレビやラジオ、SNSを活用しながら、その魅力を発信し続けている。明治神宮への奉獻や農水省主催「フードアクションニッポンアワード 2016 究極の逸品」を受賞。昔ながらの風景や思い出の味を後世に伝え、絶やさないように…と食育にも注力している。「思い出の味とは、誰かと食べたその時の情景や味を思い出し、気持ちが沈んだ時にも心の支えとなるもの。伝統的な食材の存続は、未来の人々の心と健康を守る要となる。大切にしていきたいと思う」という。

また、春には泥だらけになりながら田植えを行い、秋には石包丁で稲刈りをする子ども向けの農業体験も実施。「体験を通して、自然への親しみと、農業の楽しさを知ってもらいたい。」と語った。